

媒体名

ダイエット&ビューティー
(CMP ジャパン株式会社)

掲載日

2008年9月15日

タイトル

特集「化粧品原料 各社動向」

AC-11でコラーゲンが4.7倍に増加

(株)ニュートリションアクト（東京都港区）は、南米のハーブ・キャットクロー樹皮から抽出した原料「AC-11」を展開している。

「AC-11」は有効成分CAEs（カルボキシアルキルエステル）によるDNA修復促進機能が期待される成分。化粧品や健康食品に数多く採用されている。

同社は8月、AC-11のIII型コラーゲンの増殖効果についてのデータを発表した。III型コラーゲンは加齢と共に減少し、肌のみずみずしさや、しわ、くすみなどにも関係の深いコラーゲンとされる。

評価法は、同社が日本の窓口をしている、ヒトの生きた皮膚組織を使った肌評価方法「EX-VIVO」を確立しているフランスのBIO-EC社と共同で行った。

試験では1日250mgのAC-11を摂取したと想定し、皮膚組織に投与。11日後に皮膚断面を染色し、変化を比較した。その結果III型コラーゲン量が開始時とくらべ469%まで増加したという。

グラフ:III型コラーゲン量(%)の変化

